



令和7年8月版
知って！楽しむ！
ジビエ

ジビエってなに？

食材となる野生鳥獣肉のこと(フランス語でジビエ(gibier))



主なジビエ:シカ、イノシシ、カモ、キジ、野ウサギ、クマなど

ヨーロッパでは貴族の伝統料理として、古くから発展してきた食文化。

ノーベル賞受賞者の晩餐会において、メインディッシュにシカ肉が振る舞われることも有名。



古くから日本で食べられていたジビエ

日本でも古くから狩猟肉を食べる文化がありました。

肉食を禁忌としていた江戸時代にも、植物の名前を隠語として使用し、「決して肉ではない」ということで、誤魔化して食べていたということです。



ぼたん鍋



シカ肉＝もみじ



イノシシ肉＝ぼたん・山くじら

なぜ今ジビエ振興なのか？



畑のイノシシ被害



樹園地のシカ被害

農作物を作ってもイノシシやシカに食べられてしまう。
もう、農業続けられないよ



鳥獣被害対策



3つの柱

捕獲（生息数を減らす）
防護柵（農地を守る）
環境整備（出にくくする）



安心して農業が
続けられる環境



いただいた命を無駄にしない。
ジビエとして有効活用



なぜ今ジビエ振興なのか？

被害防止のために捕獲を進めるだけでなく、捕獲鳥獣を地域資源（ジビエ等）として利用し、農山村の所得に変えるような、有害鳥獣を「マイナス」の存在から「プラス」の存在に変える取組を全国に広げていくことが重要。

マイナス面

- ◆ 野生鳥獣による農作物被害の増大
- ◆ 営農意欲の減退
- ◆ 耕作放棄地の拡大
- ◆ 農山村地域の衰退
- ◆ 有害鳥獣の捕獲
- ◆ 捕獲鳥獣の埋却・焼却処理が負担

ジビエ振興

これまで廃棄していた捕獲鳥獣のジビエ利用拡大を推進

プラス面

- ◆ 積極的な捕獲の推進
- ◆ 農作物被害の低減が期待
- ◆ 様々な分野でジビエ利用
 - 農泊・観光
 - 外食・小売
 - 学校給食
 - ペットフード など
- ◆ 農山村地域の所得向上が期待

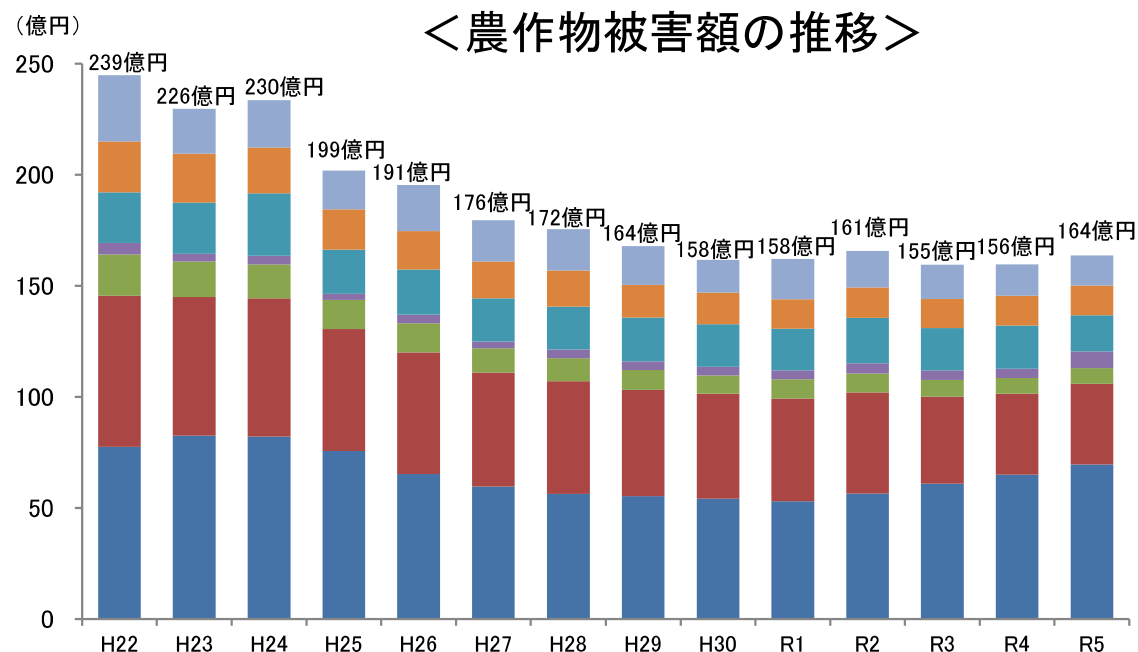
野生鳥獣による農作物の被害

野生鳥獣による農作物被害額は**164**億円(令和5年度)
全体の約7割がシカ、イノシシ、クマ、サル



※ラウンドの関係で合計が一致しない場合がある

鳥獣被害は、
○ 営農意欲の減退
○ 耕作放棄・離農の増加
○ 森林の下層植生の消失等による土壌流出
○ 希少植物の食害 等
ももたらしており、被害額として数字に表れる以上に農山漁村に深刻な影響を及ぼしている。



農作物の野生鳥獣被害対策の3つの柱

- 鳥獣被害対策は、**個体群管理**、**侵入防止対策**、**生息環境管理**の3本柱が鉄則。
- この3つの活動を**地域ぐるみ**で、いかに徹底してできるかが、対策の効果を大きく左右。



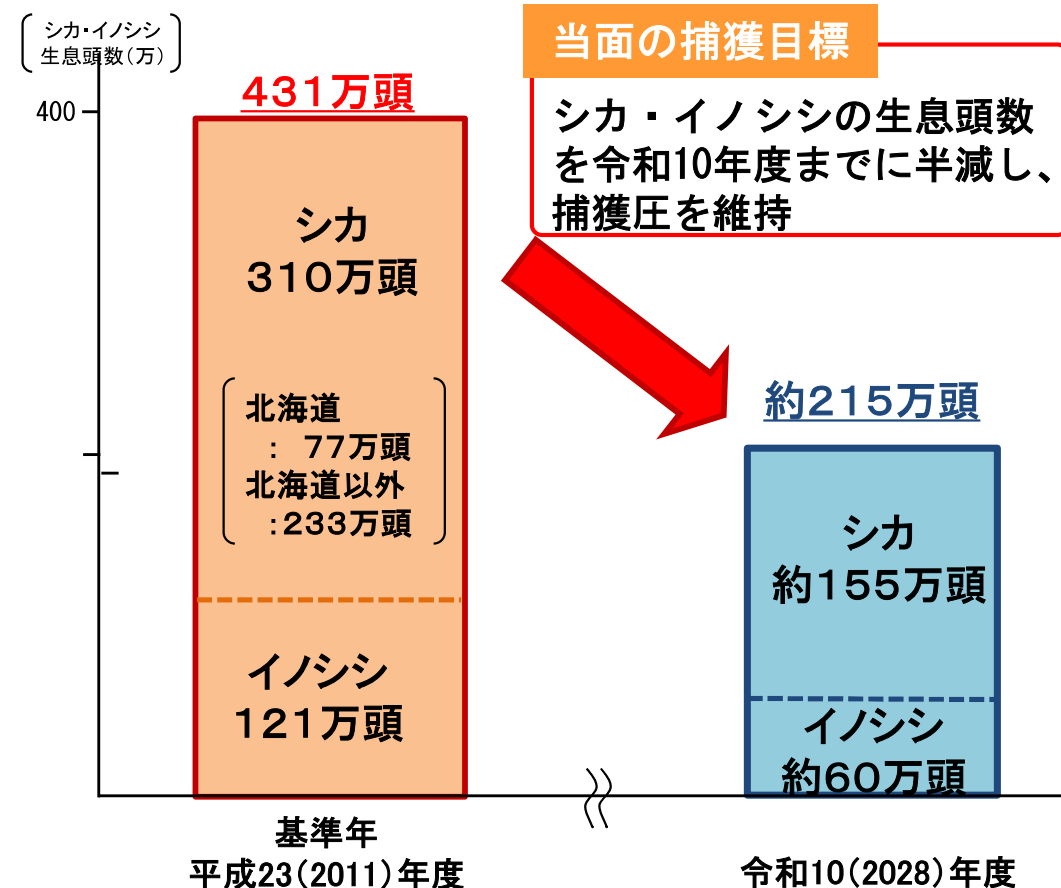
野生鳥獣の捕獲について

シカ・イノシシの捕獲目標

生態系や農林水産業等に深刻な被害を及ぼしている野生鳥獣について、更なる捕獲対策の強化を図り、

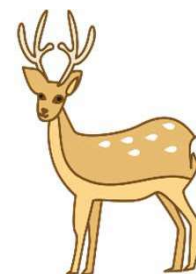
- ① シカは、令和10年度までに、生息頭数の平成23年度水準からの半減を目指す。
- ② イノシシは、平成23年度水準の半減を早期に達成し、その後も被害軽減に向けて捕獲圧を維持する。

【捕獲目標 イメージ】



シカ・イノシシの捕獲頭数

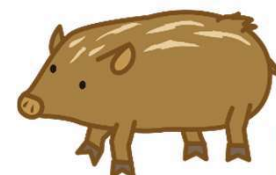
令和5年度(環境省調べ)



シカ

72万頭

- ・被害防止等を目的とした許可に基づく捕獲※ 59万頭
- ・狩猟による捕獲 13万頭



イノシシ

52万頭

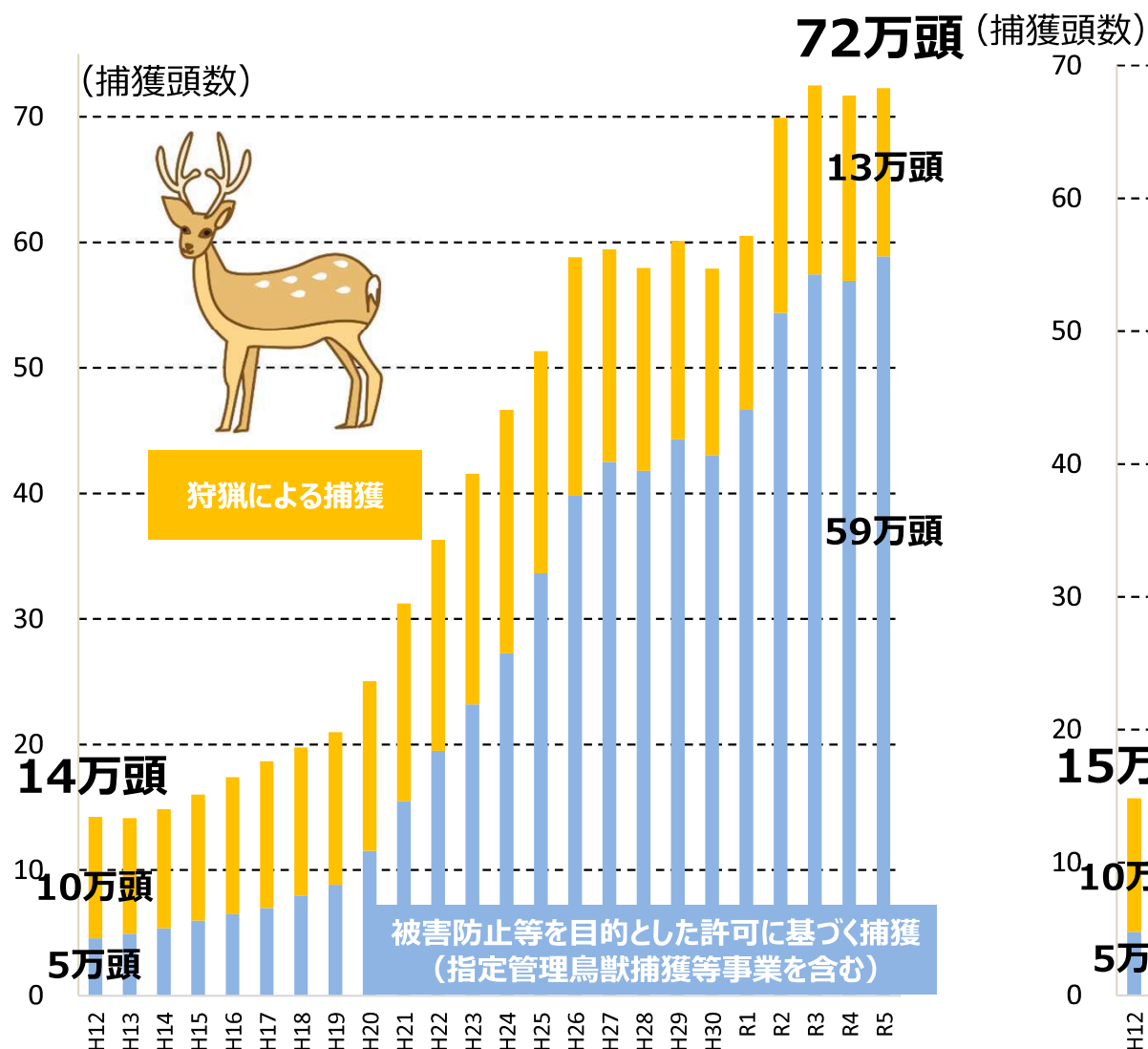
- ・被害防止等を目的とした許可に基づく捕獲※ 44万頭
- ・狩猟による捕獲 8万頭

注) ニホンザル・カワウについても、それぞれ別途加害群半減に向けた被害対策強化の考え方を策定(平成26年(2014)4月)。

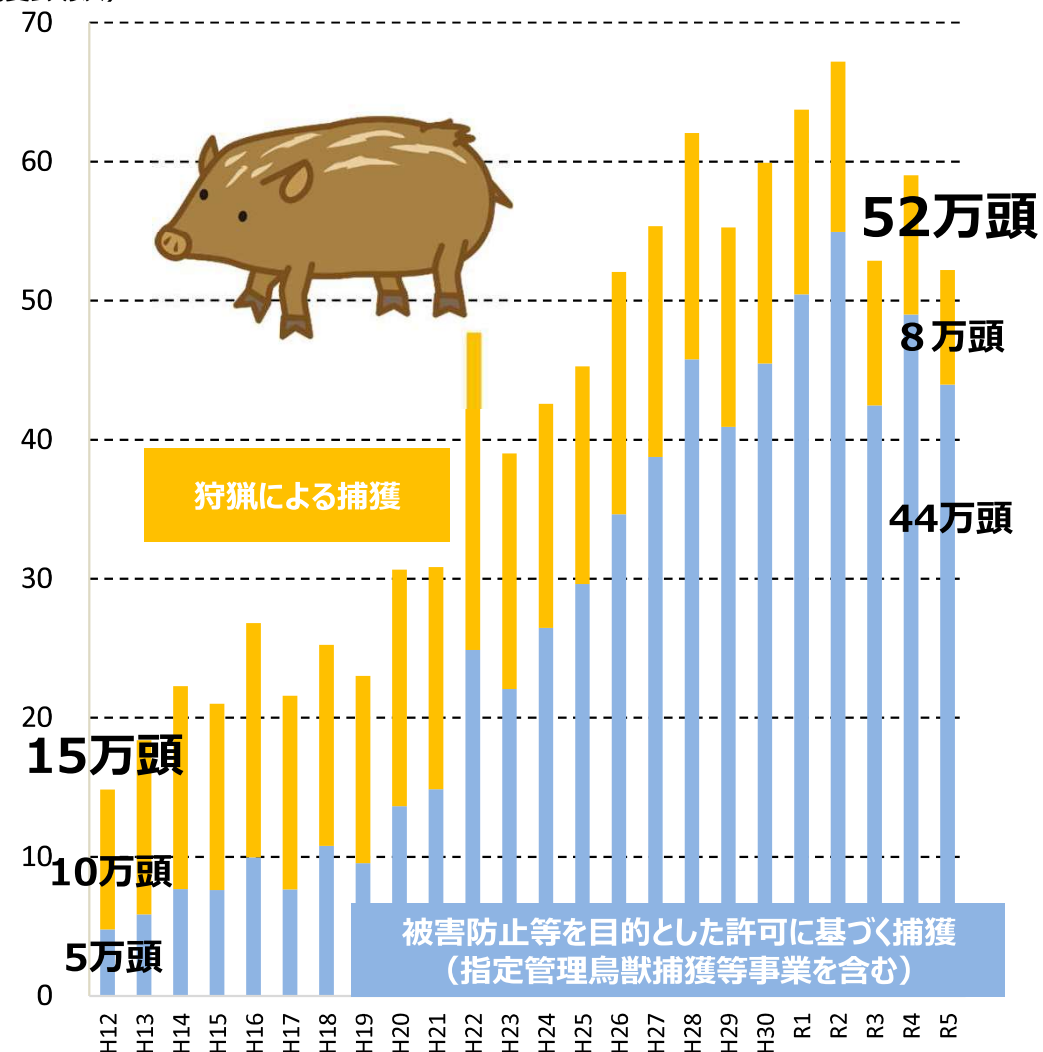
※指定管理鳥獣捕獲等事業を含む

シカ・イノシシの捕獲頭数の推移(環境省調べ)

○ シカの捕獲頭数推移



○ イノシシの捕獲頭数推移



※ シカは北海道のエゾシカを含む数値。

※ シカ及びイノシシのR5捕獲数は速報値(令和6年8月30日現在)。捕獲数の訂正等により今後変更があり得る。

(出典)「捕獲数及び被害等の状況等」(環境省)に基づき鳥獣対策室で作成

捕獲された有害鳥獣のジビエ利用について

捕獲されたシカ・イノシシのうち
ジビエとして食肉加工・流通された割合

約1割

(※ハンターによる自家消費を除く)

食肉処理施設における
シカ・イノシシの処理頭数

約16万頭

出典:野生鳥獣資源利用実態調査

シカ・イノシシの捕獲頭数

約124万頭

出典:捕獲頭数(速報値)環境省

(令和5年度)

合計182,627 頭・羽(対前年度24,642頭・羽増)

R5年度



出典:野生鳥獣資源利用実態調査

目標:ジビエ利用量の増加

捕獲された有害鳥獣のジビエ利用について

令和5年度に野生鳥獣の
食肉処理を行った処理加工施設数

772施設(全国)

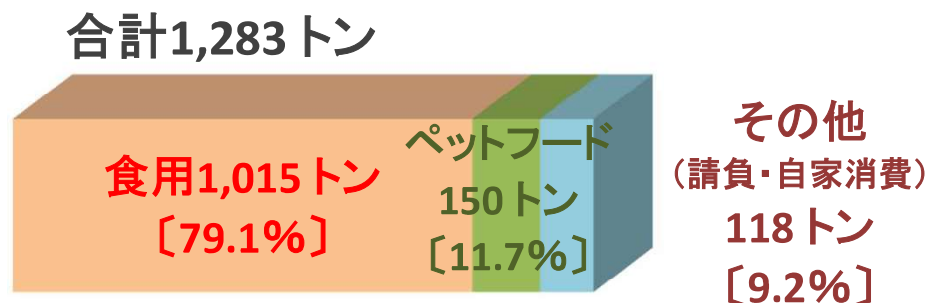
令和5年度のジビエ利用量

2,729トン

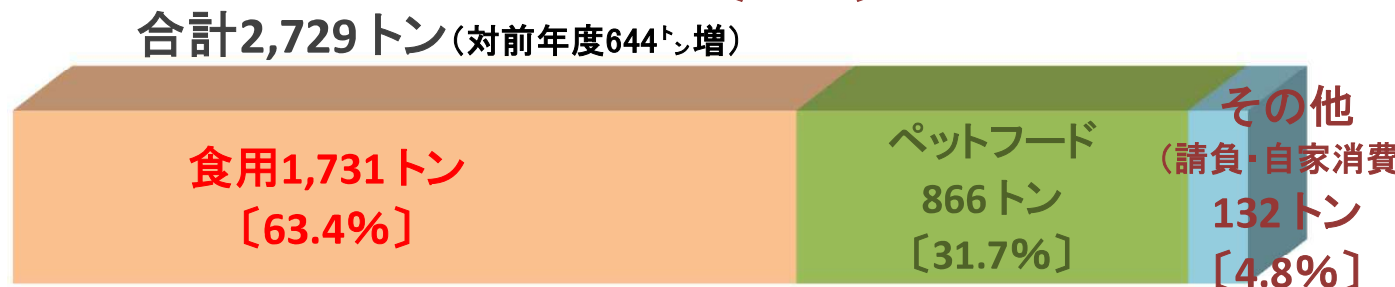
※ジビエ食肉処理加工施設での処理・流通量

平成28年度と比べ
2.1倍に増加

H28
年度



R5
年度



出典:野生鳥獣資源利用実態調査

令和11年度のジビエ利用量目標 4,000トン